



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol.311

2023/4/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

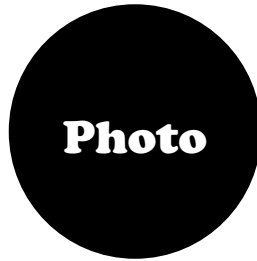
GREEN COLUMN

01. 湖のアイスバブル

02. 美幌町の花と樹は？



今月の一枚



「氷が解けて春になる」

表紙写真・文／鬼丸和幸

日に日に気温が上がり、結氷していた屈斜路湖も、水面が顔を出すようになりました。冬季の屈斜路湖は、結氷し始めた氷同士が“ピキピキ”と、音を立てながら、ひしめきあった後、山並のように盛り上がり帯状に続く“御神渡り”を観察できることで、世界的にも有名な湖です。今年の冬は、気温のせいもあったのか、残念ながら、大規模な御神渡りは発生しなかったと聞いています。湖畔を歩いていると、湖岸近くに打ち寄せられた氷が堆積し、壁状となった“ミニ御神渡り”的な風景を、見ることができました。

Event. 今月のイベント

特別展「カメラは見た！動物たちの素顔」 ～10月22日（日）

プチ工房「かぶとおりがみ」 4月21日（金）、22日（土）

Information. 参加者募集

プチ工房「かぶとおりがみ」

● 4/21（金）、22（土）10:00-12:00、14:00-16:00 ※自由に入室可能、作品ができ次第終了 ●美幌博物館 1階 講座室 ●参加費 300 円 ●八重柏誠（美幌博物館）●どなたでも、小学3年生以下は保護者の同伴が必要 ●申込み不要

こどもの日 無料開館

● 5/5（金）9:30-17:00（入館は16:30まで） ●美幌博物館 ●無料 ●申込み不要

こどもの日 無料工作「キラキラかざぐるま」

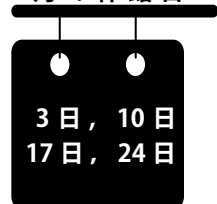
● 5/5（金）10:00-15:00 ●美幌博物館 1F 講座室・修理室 ●無料 ●どなたでも、小学3年生以下は保護者の同伴が必要 ●申込み不要

特別展「カメラは見た！動物たちの素顔」 展示解説

● 5/5（金）① 9:30-12:00 ② 13:00-15:00 ●美幌博物館 2F 特別展示室 ●無料 ●どなたでも ●申込み不要 ●担当学芸員が特別展の展示解説を行います。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱がある、あるいは体調が優れない方のご参加はお控えください。各イベントは、内容の変更や中止となる場合がございます。また状況により、一時休館となることもございます。事前にお電話でお問い合わせの上、ご参加ください。

4月の休館日



〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用、持ち物 ●講師 ●申込み方法

湖の アイスバブル

写真・文／鬼丸和幸



ようやく、春の日差しを感じられるようになってきました。冬が長い北海道。外歩きも、“おっくう”になりがちですが、冬の野山を歩いていると、楽しい発見があるものです。

湖が結氷して、まだ氷の上に雪が降り積もらない頃、あるいは、春が近づき解氷し始めた頃、湖岸から氷面を見ていると、所々でアイスバブル（氷の泡）のユニークな模様を、見つけられるかもしれません。

アイスバブルは、バクテリアに起因するメタンガスや、火山性ガスなどの気泡が湖底から噴き出し、水表面に張った氷に閉じ込められ、そのまま凍ったものです。道内では、糠平湖や阿寒湖などが、見事なアイスバブルを観察できる場所として、よく知られています。屈斜路湖の砂湯キャンプ場付近でも、所々で規模は小さいものの、多くのアイスバブルを見ることが

できます。

屈斜路湖を訪れたこの日、天気も良く、湖の氷はだいぶん解けていましたが、岸边近くに張りついた氷の中に、アイスバブルを見つけることができました。見る角度によって、白色や青色、紫色など、いろいろな美しい色に見え、ちょっとした“氷のミニ芸術作品”のようでした。

まもなく、湖の氷は、すっかり消えてなくなりますが、運が良ければ、この素敵な芸術作品の名残を、まだ見つけることができるかもしれません。

美幌町の 花と樹は？

写真・文／城坂結実



みなさんは、美幌町の樹と花をご存知でしょうか。美幌町の樹はイチイ、花はエゾムラサキツツジです。昭和 52（1977）年、美幌町に戸長役場が設置されてから 90 年を記念して、町民から募集して決められたものだそうです。ちなみに北海道内でもエゾムラサキツツジをシンボルとする自治体は多く、富良野市など美幌町以外に 13 自治体があります。

そう言われてみると、エゾムラサキツツジは美幌町内の道路沿いに始まり、せせらぎ公園やみどりの村森林公園など、至るところで目にすることができます。グリーンレターの Vol. 301（2022 年 5 月号）に書いたように、せせらぎ公園の遊歩道沿いは、エゾヤマザクラとエゾムラサキツツジが植えられていて、花の開花時期は華やかさも一塩です。

しかし、よく見るエゾムラサキツツ

ジは、人の手によって植えられたもの。美幌町の花であるエゾムラサキツツジが、自然に生育している場所は、一体どこなのでしょう。美幌町古梅地区にある美幌峠展望台から少し離れた岩場に、わずかにエゾムラサキツツジが咲いています。元来、エゾムラサキツツジは、北海道や北東アジアの山地の岩場に生育する植物。美幌峠のエゾムラサキツツジは、恐らく自然に生育しているものでしょう。

実は、環境省のレッドデータブックで、絶滅危惧種（絶滅危惧Ⅱ類）に指定されているエゾムラサキツツジ。美幌町の山林で、昔からエゾムラサキツツジが咲いている場所がありましたら、ぜひ美幌博物館までご一報ください。

グリーンレター Vol. 301

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/page/2022033000022/files/2205.pdf>

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・早田真莉子

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき

.....



美幌博物館の入館スタンプが新しいデザインになりました！たくさんの動物や鳥、植物などがありました、可愛いスタンプ。春の訪れとともに、ますます心がウキウキです♪（しろ）